



鹿児島市立和田小学校 学校だより

# 4月号 七ツ島



令和5年4月27日発行

**笑顔が似合う思いやりのある子供を育てます!**

校長 池田 浩

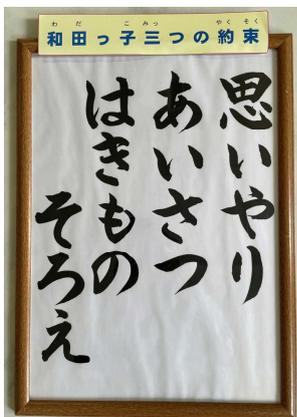


真新しいランドセルに夢と希望を詰め込んで入学した127人の1年生を迎えて、今年度は、全校児童767人、教職員61人で、鹿児島市立和田小学校の令和5年度がスタートしました。

6日の始業式では、造花の花束を見せ、「ここに何本の花があると思いますか。」という質問をしました。「答えは、32本です。32というのは、今年の和田小学校の学級の数です。」と言いました。

そして、1本の花を取り出し、「この花びらの1枚1枚が、皆さん一人一人だとしたら、その花びらが集まって1本の花(学級)ができます。そして、32本の花が集まって、和田小学校というこんなにきれいな花束ができるのです。」という話をしました。

色も形も大きさも違う花ですが、それぞれの学級がどんな花を咲かせ、どういう花束(和田小)になるのか、とても楽しみです。



さらに、子供たちの目標として「和田っ子三つの約束:思いやり、あいさつ、はきものそろえ」を掲げました。

「思いやり」は、全ての行動の原点です。人に対して、物に対して、思いやりの気持ちで行動すれば、いじめもなくなり、子供たちの笑顔が増えると信じています。

「あいさつ」は、人と人とのコミュニケーションの潤滑油です。特に朝は、「いつでも、どこでも、(同じ人でも)何度でも、誰にでも」、相手も自分も気持ちがよくなる元気のいい挨拶をしてほしいと思っています。最初は、大きな声が出なくても、会釈だけでも頑張してほしいです。

「はきものそろえ」は、わずか3秒でできる思いやりの習慣です。履物がきれいに揃っていれば気持ちがいいものです。自分の靴を脱いだら、かかとを揃えて靴箱に置く。そして、トイレでは、後から来る人のために自分の使ったスリッパを揃える。できたら、脱ぎっぱなしのスリッパも黙ってそっと揃えてあげる。

簡単なことですが、全校児童となると難しいものです。履物を揃えて、行いを振り返る習慣、心を整える習慣を身に付けてほしいと願っています。

この三つの約束を守って、笑顔が似合う思いやりのある子供に育つよう、全職員一丸となって取り組んでまいりますので、一年間、御協力をよろしくお願いいたします。

私は、4月に薩摩川内市立平佐西小学校から転入してまいりました。薩摩川内市は、大綱引や甕島、蘭牟田池などが有名な、川内川に面した県内で最も広い市です。

平佐西小学校は、JR川内駅のすぐ近くに位置し、学校から新幹線が停車する様子がよく見えました。また、20年以上にわたって小学校英語教育を推進している学校で、児童数は、今年度の和田小学校より、ちょうど100人多い867人でした。

和田小の子供たちのために頑張りますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。